

地域おこし協力隊が6人に 新たに菅野裕子さんが着任

4月3日、地域おこし協力隊の委嘱状交付式が町長室で行われ、すでに隊員として町内で活動中の石井紀子さん、遠藤真弓さん、小野寺太樹さん、茅野唯さん、澤邊聖さんに加え、今年度

新たに加入した菅野裕子さんに佐藤町長より委嘱状が交付されました。

町で6人目の協力隊となった菅野さんは、宮城県塩竈市出身。以前まで障害福祉サービス事業所に勤

務しており、今後は鮎貝地区を中心に、農家民宿「のどか村」の活性化や周辺施設と連携した観光振興をテーマにさまざまな活動を行っていきます。

また、引き続き石井さんと遠藤さんは蚕桑地区、小野寺さんと茅野さんは鷹山地区、澤邊さんは町観光協会を拠点に、町民の皆さんと協力しながら町おこしをしていきます。



①新年度を迎え「新たな気持ちでがんばる」と意気込む6人 ②一人ずつ佐藤町長から委嘱状を受け取った

伸び伸びと熱いプレーを—— 町ソフトボール場・野球場が竣工

スポーツ振興くじ（toto）の助成を受けて整備を進めていた、町ソフトボール場・野球場の竣工式が4月23日に同所で行われました。

改修工事が行われたのは、ソフトボール場2面と野球場1面。老朽化及び今年夏に開催される南東北インターハイに向け、グラウンドの土の入れ替えや、得点板やベンチの更新、フェンス・

ネットの張り替えなどが行われ、存分にプレーできる環境が整備されました。

式には、関係者など約25人が出席。テープカットに引き続き、ソフトボール場では宮城県岩沼市と白鷹町のチームによる交流試合が、野球場では町内の各チームによる対抗戦が行われ、きれいに整備された球場で伸び伸びとプレーしながら完成を祝しました。

スポーツくじ



岩沼市との交流試合。平成9年のねりんピックから続いており、今年で20回目

JA山形おきたま農政対策白鷹地区本部 によるアルミ製弁当箱贈呈式

4月5日、JA山形おきたま農政対策白鷹地区本部（大滝権一本部長）によるアルミ製弁当箱贈呈式が町長室で行われました。

これは「これからの白鷹町を担う子どもたちにおいて、おいしいお米をたくさん食べてもらいたい」と毎年行われ

ているもので、今回は町立小学校新入生110名分の弁当箱を寄贈いただきました。

なお、弁当箱は、入学式の日に入生に手渡されました。ありがとうございました。



「子どもたちに大切に使ってほしい」と、渡部経済支店長が佐藤町長へ目録と弁当箱を手渡した